

国立公園研究所 年次報告 Vol.10

目 次

巻頭の言葉	奥山正樹	1
論文・論説・研究報告等		
湿地コモンズの危機と再生 ーバングラデシュ・マルジャット・バオールにおける教育と 生計の統合的アプローチー	佐藤秀樹	3
現地レポート 自然公園におけるボランティア団体の現状と 今後の課題	宮地信良	11
グレート・スモークー山脈国立公園の設立とその意義	伊藤太一	17
国立公園名とその文字数に関する経緯	奥山正樹	27
「国立公園」誌 江戸川大学国立公園研究所 連載記事		37
1. 連載第55回 (令和6年4月号) 国指定鳥獣保護区の現状と課題	奥山正樹	38-39
2. 連載第56回 (令和6年5月号) 湿地と文明のトレードオフ	中島慶二	40-41
3. 連載第57回 (令和6年6月号) 学生の実践から学ぶインタープリテーションの技能と工夫	佐藤秀樹	42-43
4. 連載第58回 (令和6年7月号) 国立公園を「嗜(たしな)む」ことはできるか	土屋 薫	44-45
5. 連載第59回 (令和6年9月号) IUCNは国際自然保護連合か?	伊藤太一	46-47
6. 連載第60回 (令和6年10月号) 自然環境や歴史的環境を図書館や美術館に見立てて ーTTOR: ナショナル・トラストの源流をめぐって	木村美里	48-49
7. 連載第61回 (令和6年11月号) 半自然草原存続の危機と自然公園	宮地信良	50-51
8. 連載第62回 (令和6年12月号) 聖地と国立公園	親泊素子	52-53
9. 連載第63回 (令和7年1月号) コンセッショナー ～「利用」と「保護」の狭間で～	寺井克之	54-55
10. 連載第64回 (令和7年3月号) 「蒼天に展く」～黎明から90年	奥山正樹	56-58

・ 2024年度江戸川大学国立公園研究所主催フォーラム 生物多様性保全と保護地域 ～ネイチャーポジティブに向けた連携を考える～……………	59
・ 令和6（2024）年度 江戸川大学国立公園研究所の 活動について（報告）……………	79
・ 編集後記……………	高橋恵美 83